

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
2番 小松 晃	1. 非核平和の町宣言をしている町として今の国の動きについて 2. 町としての子ども子育て支援策について	(1) 今の動きを町長はどのように受け止めているか。 (2) これを阻止するため、町民の命と暮らしを守る立場にある地方自治体の首長としてどう取組もうとしているか。当町も加入している日本非核宣言自治体協議会などに働き掛けをする考えはないか。 (1) 子ども子育て支援法の施行に向けて実施主体となる町としての計画策定等を具体的に示せるのはいつ頃になるのか。 (2) その中で法の枠を越えた町独自の少子化対策・子ども子育て支援まで考える予定はあるか。 (3) 是非とも取組んでほしい対策として、0歳児、1歳児を保育所に預けるのではなく、母親の手元で育てられるような独自の支援策や、事業者(母親の職場)に対しての対策は考えられないか。	
13番 七戸 輝彦	1. 防災に関する講演会について 2. 女性の管理職員の登用について 3. 先日出された、町長の執行方針について、具体策は	(1) 度々、一般質問で片田先生による防災の講演会開催について取り上げてきた。改めて進捗状況を伺いたい。 (1) 現在の職員数と、女性職員数は。また、女性職員が占める割合は。 (2) 現在の課長級の職員は何名で、そのうち女性職員は何名か。 (3) 洞爺湖町が誕生して8年目を迎える。この間課長級に女性職員の登用はあったか。 (4) 近隣の胆振西部市町では、過去から相当数の課長級の女性職員がいる。洞爺湖町と比較して多いと思うが、それをどう考えるか。 (1) 防災行政無線のデジタル化、とある。度々申し上げてきたが、以前よりハード面は整っているが、ソフト面(運用次第)についてはどのような計画でいるか。 (2) 各産業の振興策で、新たなものがあれば、具体的に伺いたい。	

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>3番 松 井 保 明</p>	<p>1．空き家対策について</p> <p>2．交通安全対策について</p> <p>3．消費者行政について</p>	<p>(1) 今国会で成立が見込まれる「空家対策特措法」について、町としての認識と見解について</p> <p>(2) 町として今後空き家対策についての対応はいかなる施策を考えているのか。(新しい制度を創設するのか又現状のままか)</p> <p>(3) 町独自として空き家撤去に対して支援策を考えられないか。</p> <p>(1) 道路交通法の改正(H25年12月)に伴い自転車運転者には相当きびしい規制が強化されることになり、その改正についての認識と見解について。</p> <p>(2) 自転車の事故から高齢者をいかにして守るのか。その対応策は。</p> <p>(3) 法の改正に伴い、保育所又学校現場ではいかなる対応がなされているか。</p> <p>(4) 地域住民に対して今般の法改正をどう指導し協力を求めていくのか。</p> <p>(5) 新しい保険制度を創設し自転車所有者に保険加入の努力義務を定めた「自転車安全利用に関する」条例制定の考えは。</p> <p>(1) 今日の社会情勢の中で目に余る「悪質商法」についての町としての認識と見解について。</p> <p>(2) 特に高齢者が標的になっていることから保護する面からの対応策は。</p> <p>(3) 高齢者以外の一般住民に対しての啓蒙対策としていかなる施策を考えているか。</p>	
<p>12番 大 西 智</p>	<p>1．学校教育の充実について</p> <p>2．硬水対策事業の効果と漏水対策について</p>	<p>(1) 町内の小中学校の教育の現状と将来的な在り方についてどのように考えているのか。</p> <p>(2) 特色ある教育を進めていく考えは。</p> <p>(1) 事業で何世帯、何人の方々に水が配水されるのか。</p> <p>(2) 今回の事業で作られる水の量と実際に使われる水の量との違いはあるのか。</p>	

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
12番 大西 智	3. 洞爺地区振興策について	<p>(3) 水道水の安定供給を行うために有収率を高める必要性はないのか。</p> <p>(4) 年次的な水道管の敷設替え計画はあるのか。</p> <p>(1) 洞爺地区振興策検討委員会で中間報告があったが行政として今後どのような検討をしていくのか。</p> <p>(2) 最終報告の前に多くの地域住民の声を聞く考えはないのか。</p> <p>(3) Aコープ洞爺店の閉店が今年度予定されているが行政としてどのような考えをもっているのか。</p>	
6番 佐々木 良一	1. 活力ある町づくりとあらたな観光政策について	<p>(1) 人口減少化社会を向え、若者、生産人口をいかに増やしていくかが町づくりの重要なポイントになると思う。活力ある町づくりの為、観光産業の新たな分野の開拓が必要と思うが、次の点について伺いたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">滞在型観光とスポーツツーリズムの振興について</p> <p style="padding-left: 2em;">北海道フットボールクラブとの相互交流支援協定の内容充実の為の具体的施策の展開について</p> <p style="padding-left: 2em;">若者定住の為の産業振興策について</p>	
4番 立野 広志	1. 第6期介護保険事業計画策定に関して	<p>(1) 2015年から介護保険計画の第6期が始まるが、自公政権が強行採決した「医療・介護総合法案」では、特養ホームに入れる高齢者を要介護3以上に限定し、要支援1、2の介護サービスを市町村事業としてボランティアなどに任せるといったような検討がなされている。</p> <p style="padding-left: 2em;">町内の特養老人ホームの入所待機者の状況、そのうち在宅待機者数の状況を把握しているか。</p> <p style="padding-left: 2em;">施設から在宅へと言いながら定期巡回・随時対応型訪問介護・看護の指定は地方では殆どすすんでいない。現状で、在宅を支援できる体制と言える状況にあるのか。</p>	

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
4 番 立 野 広 志	2 . 教育行政について	<p>要支援事業を介護保険から外して町事業へ移行する問題では、財源・人材不足によるサービス低下や保険利用料引き上げが懸念されるのではないかと。</p> <p>国の処遇改善事業後の調査で、非常勤職員の給与が逆に下がり人材不足を理由とする居宅介護施設のサービス休止が全道的に発生していると聞くと、町内の事業者のサービス実態を把握しているか。</p> <p>(2) 町は、利用者の負担の増加を招くことなく継続できるよう、国に改悪をやめ介護事業者が予防給付、特養入居基準の継続ができるよう求めていくとともに、介護予防事業の対策強化を行う考えはないか。</p> <p>(1) 政府は、教育委員会制度を変えるための「法案」(地方教育行政法改正案)を国会に提出したが、この内容についての認識と対応を質します。</p> <p>(2) 「洞爺湖町教育改善推進委員会の提言書」にもとづく推進について。</p> <p>本年2月12日、町教育長に標記の提言書が提出された。この内容は、本町の校長会を中心に、小中学校教職員、PTA代表、教育委員会とその他関係者の総意によってまとめられるものとしては、画期的取組といえます。これを実効あるものとして推進していく考えがあるのか。そのための施策を質します。</p> <p>提言内容の推進に向けた具体化をはかる体制はどのように確立するのか。</p> <p>(提言内容の三つの視点ごとの具体化と推進のための体制や計画・運用の検討やアドバイスができるマンパワーの確保が必要ではないか。)</p> <p>提言の内容と、小中学校における個別の学校経営方針との整合性をどのように図るのか。</p> <p>(3) 就学援助制度における支給単価の引き上げ対応について</p> <p>国は消費税8%への増税の影響緩和として就学援助における支給単価を2.8%上乘せしたが、町はどのように対応してきたか。</p>	

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
4番 立野 広 志	3. 中学卒業までの医療費無料化に向けた対策を改めて問う	<p>また、生活保護基準額が引き下げられたことによる、就学援助の認定基準の引き下げを行うことなく、従来通り就学援助が受けられるように配慮されているか。</p> <p>(1) 少子高齢化、定住対策、まちの活性化などどれをとっても、子育て世代の雇用と定住対策は欠かせない課題である。先の議会質問では「町の財政状況を見て・・・」との答弁であったが、その後の検討内容を質すとともに、段階的实施も含めた対策を求める。</p>	
5番 板垣 正 人	1. 定住移住対策について 2. 洞爺湖温泉大通り線について	<p>(1) 平成23年5月に洞爺湖町内の事業所従業員を対象とした定住に関するアンケートを実施しているが、どのような活用をしているのか。</p> <p>(2) 若者子育て支援等の町の考えは。</p> <p>(3) 洞爺湖町内路線バス(70歳以上無料)を今後どのように考えているのか。</p> <p>(4) 町と民間による(仮称)定住促進協議会の設置をするべきと思うが町の考えは。</p> <p>(1) 以前にも質問しているが、温泉大通り線の大型車両(バスを除く)の通行が少しでも減るよう町としても努力するべきと思うが町の考えは。</p>	
10番 越前谷 邦 夫	1. 洞爺湖町成長戦略について	<p>(1) 現町政が2期目に入り、町づくり総合計画を前進させるために、どのような行政手法を取るのか。理事者の見解を伺いたい。</p> <p>(2) 北海道新幹線新函館(仮称)開業まで2年を切り、西胆振・洞爺湖観光に新幹線利用客を取り込むには地域ブランドの構築、町民力の向上が鍵といわれているが全体的に取り組みが見えない。各自治体との連携、協働、官民一体となった取り組みの進捗状況は。</p> <p>(3) 貸切バス事故等の多発により、平成26年4月1日施行道路運送法に基づく貸切バス料金等の制度改正により、町全体、洞爺湖観光に与える影響は。</p>	

洞爺湖町議会平成26年6月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
<p>10番 越前谷 邦 夫</p>	<p>2．洞爺地区の活性化対策の一環について</p>	<p>(4) 定住、移住対策は町の存亡に関わる課題である。特に、20代、30代の居住策が重要である。人口流出を防ぐためには町独自の居住推進策を強化すべきと思うが。</p> <p>(1) 洞爺地区には源泉井戸が4ヶ所ある。雇用の場確保、温泉熱利用事業促進のためにも、(例)トラフグ、スッポン、チョウザメ等の養殖事業に着手してはどうか。</p>	